

CHECK!! チケット&申し込みインフォメーション

光と風のステージCue vol.65
タンゴ五重奏

2022年9月17日(土) 19:00
四季文化館 みの〜れ 風のホール

◇料金: 2,000円 (ペットボトル1本付き)
◇出演: 小林萌里(ピアノ)
廣津留すみれ(ヴァイオリン)
北村聡(バンドネオン)
大柴拓(ギター)
田辺和弘(コントラバス)

◇未就学児入場不可

7月17日(日)10:00チケット発売 0299-48-4466(みの〜れ)

みの〜れ20歳記念住民ミュージカル
黄色い袋と魔法のトンネル

2022年10月15日(土) 14:00
16日(日) 14:00

四季文化館 みの〜れ 森のホール

◇料金: 高校生以上 1,000円
小学1年~中学3年 500円

◇全席指定
◇初日は電話・ネット予約のみ
◇出演: 演劇ファミリーMyu70名

7月17日(日)10:00チケット発売 0299-48-4466(みの〜れ)

みの〜れ 住民楽団 **メンバー大募集!**

ジョリーフォレスト ジャズオーケストラ

「楽器を始めてみたいけど大人になってからでは難しい…」
「学生時代に楽器をやっていたけど社会人でも続けたいけど時間がない…」
「ジャズって敷居が高いのでは…」

一歩踏み出せず悩んでいる方へ。

ジョリーフォレストは練習を積み重ねてだんだんまとまっていく過程を大事にして活動しています。気軽に声をかけてください。

ぜひ一度見学してみませんか?

練習日時: 毎週火曜夜、月1回日曜午後
練習会場: みの〜れ メンバー: 高校生以上

募集パート
テナーサクソ、バリトンサクソ、トランペット
トロンボーン、ピアノ、ベース、ドラム

※但し、ピアノ、ドラム以外は個人で楽器を用意して頂く必要があります。

お問い合わせ 0299-48-4466(みの〜れ)

2022年8月の催し ※営利目的ではなくどなたでも入場可能で「文化芸術イベント情報掲載申込書」にて申込みをした催しのみ掲載しております。 ※このスケジュールは2022年6月5日に作成したものです。新型コロナウイルスの影響により中止(延期)の可能性がございます。

| 開催日 | イベント | 開演 | 場所 | 主催・問い合わせ先 | 料金 |
|-------------|---|---|---------------|------------------------------|-----------------------------|
| 8月2日~8月13日 | 火土 陽だまり広場vol.92 みのり手芸クラブ・フラワーアレンジメント 薔薇の会展 | 9:00~17:00 初日13:00~ | アピオス ロビー | 小川文化センターアピオス 0299-58-0921 | 無料 |
| 8月7日 | 日 アピオス遊んでe計画 太鼓の達人アピオス大会 | 10:00 | アピオス 大ホール | 小川文化センターアピオス 0299-58-0921 | 無料 (要整理券) |
| 8月7日 | 日 演劇CrewCosmo's公演 森は生きている | 6月28日(金)9:00~ 整理券配布開始 | コスモス 文化ホール | 生涯学習センターコスモス 0299-26-9111 | 無料 (要整理券) |
| 8月7日~8月31日 | 日水 陽だまりスクエア vol.5 玉里写真会写真展 | 9:00~22:00 | コスモス 展示ホール | 生涯学習センターコスモス 0299-26-9111 | 無料 |
| 8月11日 | 木祝 川井郁子&小原孝 ~ヴァイオリンとピアノによる 「名曲物語」フォーユー~ | 15:00 | アピオス 大ホール | 小川文化センターアピオス 0299-58-0921 | 一般3,500円 中学生以下 2,000円 |
| 8月13日~8月28日 | 土日 陽だまり横丁vol.182 陽だまり隊プレゼンツ 化けねこ横丁~vol.3~ | イベント 8月20日(土) 13:00~17:00 最終日 ~17:00 | みの〜れ ホワイエ | 四季文化館みの〜れ 0299-48-4466 | 入場無料 (一部有料) |
| 8月21日 | 日 APOIS DANCE STADIUM | 14:00予定 | アピオス 大ホール | 小川文化センターアピオス 0299-58-0921 | 500円 (全席指定) |
| 8月28日 | 日 こんにちは! 滝平二郎さん 小美玉市の読み聞かせ グループによる朗読パフォーマンス | 14:00 | コスモス 文化ホール | 生涯学習センターコスモス 0299-26-9111 | 無料 (要整理券) |

2022年8月の休館日

| アピオス | みの〜れ | コスモス |
|--------------------------|---------------------|-----------------------------|
| 毎週月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日) | 8月8日(月) 8月15日(月) | 毎週月曜日・祝日 (月曜が祝日の場合はその翌日) |

4月からみの〜れに配属となりました。最近カメラを持って出かけるのが趣味なのですが、先日陽だまり横丁で写真展を行っていた方々にカメラについてのお話を伺うことができました。こういった話をじっくり聞けるのはみの〜れならではの楽しみです。仕事のご縁も大切にしていきたいな...と思います。<四季文化館みの〜れ 嶋田彩乃>

おみた Magazine 164号
令和4年6月23日

編集: みのんば編集局 (四季文化館みの〜れ内)
発行: 小美玉市生活文化課
〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069
TEL: 0299-48-4466

小美玉市の文化情報はホームページ・SNSでも発信中です!

アピオス みの〜れ コスモス

ホームページ 2次元コード

小美玉市の文化情報はなんでもおまかせ!

みた? みた! マガジン

おみた Magazine

みの〜れ20歳記念 住民ミュージカル 黄色い袋と魔法のトンネル

2002年11月3日、みの〜れが誕生しました。「住民の声で生まれた劇場のこけら落とし公演は住民主役の舞台で!」という声が高まり生まれたのが、みの〜れ住民楽団「演劇ファミリーMyu(みゆ)」です。このとき上演された演目は「田んぼの神様」。地域の豊かな自然を舞台に人と動物たちが生き生きと活躍するオリジナルミュージカルで、約80人の住民が舞台に立つてスポットライトを浴び、満員の客席からは大きな拍手と歓声が起こったそうです。

その後20年間で約30作のオリジナル作品が創られてきました。現在も小学1年生から80代まで100人以上がキャスト・スタッフとして活動しています。名前のとおり、家族のような温かさや結束力が劇団のよさ。注目すべきは、Myuで育った子どもたちが成長し、次の世代を導く役割を果たしていることです。脚本、音楽、舞台美術などあらゆる創作分野をMyuファミリーの手で生み出し、広報体制も充実しています。

みの〜れ近くの遠州池を舞台に、魔法のトンネルをくぐって生き物たちの世界へ飛び込んでいく小学生たちの勇気と友情の冒険ファンタジー「黄色い袋と魔法のトンネル」。20歳の節目にふさわしい作品です。

△瀧澤比佐乃△



2022年10月15日(土)14:00
16日(日)14:00

四季文化館 みの〜れ 森のホール

◇高校生以上 1,000円
小学1年~中学3年 500円

◇全席指定

7月17日(日)10:00発売 (初日は電話&ネット予約のみ)



小路朋也 武石春空 下田あすか 椎葉かなみ

トンネルの先はファンタジーの世界!! 20歳のMyu、ぜひ観に来てください!!

みの〜れが、Myuが、私が生まれて20年。その集大成をぜひご覧ください!

Myuは、私にとって多くの人と繋がりを持つ場所。最高の舞台になるよう全員で頑張ります!

私にとってMyuは自分を成長させてくれる場所です。公演も自分らしく頑張ります!



川末 圭太さん

笠間市出身の川末圭太さんは、中央高校の卒業生で、20年前、大学生のときに「文化がみの〜れ物語制作委員会」メンバーとして活動しました。きっかけは高校時代の恩師である筑内雅明先生から声がかかったこと。最年少委員の川末さんは、文化がみの〜れ物語制作委員会のホームページを立ち上げ、運営管理も任されていました。「当時は埼玉県に住んでいたため、委員会メンバーとはメールや電話でやりとりしていました。定期的にHPを見てもらうためにコラムリレーを企画したりしました。懐かしい思い出ですね」。就職活動時の面接で文化がみの〜れ物語を作ったことをアピールしたら大変興味を持たれ、採用に至ったそうです。「10年ぶりのみの〜れは、木が大きくなって森になっていて驚きました。Myuの稽古を見学したら筑内先生にも久しぶりにお会いできて嬉しかったです。『黄色い袋と魔法のトンネル』、子どもと一緒に観に来ます」と話してくれました。

<藤田佐知子>

アピオス40歳・みの〜れ20歳 記念

アピオス・みの〜れへの思いを語る



栗原 憲子さん

2010年に小川文化センター活性化委員会委員となり、現在はアピオスばるずの会長を務める栗原さん。元保育士の経験を活かして「おやこDEジャズ」の小道具を担当しています。「毎回、どのようにしたら演出のイメージに合うか考える時間が楽しいですね。作ったものが採用されず、やり直すこともあります。良い作品にするためにキャストもスタッフも一生懸命なので、妥協したくありません。アピオスに来てくれた方にありがとうと言ってもらえることが何よりも嬉しいです」。シルバーリハビリ体操の指導や、水泳で体力づくりに励む日々。「これからも健康でがんばります」と笑顔で話してくれました。

<加藤篤子>

REPORT ハープとヴァイオリンとうたによる みんなDEわくわくコンサート



2022.5.29 みの〜れ

コロナで何度も延期になっていたおやこ・マタニティコンサート実行委員会による演奏会が、ちびっ子ファミリーいっぱい集まって開催されました。手をたたいたり参加できる曲が欲しかったとの声も聞かれましたが、協賛事業者から贈られたお土産ににこにこ。同時開催の段ボール巨大迷路もハイハイしながら通り抜け、バルーンをもらって笑顔で帰っていきました。

<福島ヤヨビ>



段ボール巨大迷路

ひと・コスモス インタビュー 菊地 修一さん

以前からコスモスプロジェクト主催の演劇やコンサート、映画などのイベントに幅広く関わりサポートしてきた菊地さんは、コスモスサポーターズに参加するようになってさらにコスモスに関わる機会が増えました。コスモスサポーターズは、公募等で2年前に発足。現在20名で構成されています。イベント運営の手伝いや会場案内、写真撮影など、サポ-

ーターの役割は多岐にわたっています。「コスモスには思い出が沢山あり、大切な場です」と語る菊地さん。今後に向けて「交流の場として幅広い人たちに足を運んで欲しいですね。将来的には民家園も含めた館全体の説明やこの地域の魅力も伝えられるようなサポートができれば」と、優しい眼差しで話してくれました。

<植田みのり>



みの〜れと共に生まれた Myuの物語。



四季文化館みの〜れの誕生と同時に活動を始めた住民劇団「演劇ファミリーMyu」。Myuの活動で感じた舞台づくりについてやみの〜れ20歳記念ミュージカルに向けた想いをMyuメンバー3人に聞きました。

〈野手利江〉

みの〜れ20歳をミュージカルで祝いできることをとても嬉しく思います。

地域の皆さんや関係者の方々のおかげでMyuが常に成長し続けてこられたことに感謝しています。

みの〜れこれくら落としミュージカル「田んぼの神様」は全てプロの手で創作されましたが、20年経った今、大部分をMyuファミリーの力で創ったオリジナルミュージカルを上演します。感謝の思いを込めて、ミュージカルが成功するよう、そして、みの〜れの新たなスタートにつながるよう精一杯がんばります。



柴山 真理子さん



藤本 隆幸さん

Myuで学んだ演劇経験は、仕事で講演する際にも役立つと思います。独身時代から「いつか家族でMyuに参加できたらいいな」と夢見ていました。今では家族4人で参加しています。親が、参加者の一人として仲間たちと一生懸命打ち込む姿を子どもたちに見せることができ、Myuのような場はなかなかないでしょう。

メンバーは多様性を認め合うファミリーそのもので、多くの仲間が行き交うプラットフォームのよう。みの〜れ20歳記念ミュージカルに家族で参加できるのがとても嬉しいです。

小学6年生になる娘と、今作で2回目となる親子出演に挑戦しています。

Myuでは子どもも一人前の役者として扱われますので、2年前初めて親子で出演した際、決して娘の演技には口を出さないと決めました。周りの大人メンバーやスタッフの方々にお世話になり、作中づくりを通して成長した娘が本番で堂々と演技する姿を同じ舞台上から見守り、密かに感動していました。

今作品ではカエル王国を乗っ取るヘビの役を務めます。人生初の悪役ですが、全身でしっかり演じたいです。



佐々木 泉さん

「私のオススメ」を発信してください」そう言われて最初に思いついたのがMyuでした。小学生から所属し、私を成長させてくれた場所です。

記事制作にあたり、メンバーと一緒に活動しているMyuの代表に改めて取材をするのはなんだか気恥ずかしかったです。普段の稽古だけでは見られないMyuへの想いが詰まった言葉を聞くことが出来ました。私自身もなぜMyuに魅力を感じるのか、というところをTJOで発信したことで、良さを再認識することが出来ました。

現在私はMyuの広報部として活動しています。これからも色々な媒体を通じ、私の、そして小美玉のオススメであるMyuの魅力を発信していきたいと思っています。



タウンジャーナル小美玉(TJO)の Myu特集記事ページはこちら



演劇ファミリーMyu 広報部 門倉 栞さん